

## ■ 令和5年度 第1回足近小学校学校運営協議会 議事録

1 日 時:令和5年5月17日(水)10:20~11:45

2 出席者:学校運営協議会委員 9名

羽島市教育委員会 教育支援センター所長補佐

3 内容

(1) 委嘱式

・市教委から、委員に交付

(2) 委員の紹介

\* 一覧表をもって確認

\* 委員長、副委員長、地域学校協働活動推進委員の決定

規約第10条、第1項 委員長・・・足近町コミュニティセンター協議会会長

副委員長・・・校長

地域学校協働活動推進委員・・・足近町コミュニティセンター館長

(3) 授業参観

\* 各学級4分ほど参観

(4) 協議

\* 学校経営方針の説明【学校長】

・安全に安心して生活できる学校づくりを目指して。

・「ありがとう」「ごめんなさい」を言おうと児童には伝えている。

\* いじめ防止基本方針の説明【学校長】

・HPで広く周知している。

・いじめはどこにでも起こりうるとらえ、アンテナを高くしている。

・毎月アンケートをとり、聞き取りをしながら、書かれていないことにも対応していく。

\* 学校評価について【教頭】

・学校評価を「なかよく」「かしこく」「たくましく」「安心な学校」の4観点で実施予定である。

\* 現状について【学校長】

・小中一貫教育(MOA学園)として、4校で育てていきたい子の姿をえがいている。

・150周年を迎えるにあたって、地域の方とともに、記念の1年としていきたい。

(5) 意見交流

【委員】

子供たちにSOSの出し方を教え、大人を頼るとよいことを伝えてほしい。

【委員】

150周年であることを地域に知らせるのはどこまで進んでいるか。歴史年表を入れて、150周年を迎えたと回覧してはどうか。HPの活用もよい。

【委員】

3月に39名卒園したが、1年生は19名。子供が減ってしまったと実感した。

【委員】

昨年度大変な学年もあったが、今年はどうか。

⇒授業は落ち着いてできるようになってきた。子供の言動にはまだ良くないところもあるが、温かい心は失われてはいない。担任が大好きである。認めつつ、子供の言葉を聞ききることを大切にして指導している(学校長)

【委員】

入学式で、1年生の返事がなかったが、授業の中では進んで手を挙げて発表していた。子供たちは予想以上にタブレットを使っていたが、手で書くことも必要なときはあると感じた。

【委員】

各教室にベゴニアの鉢花が置いてあって、良い取り組みだと思う。

ノートに書くことのもつ教育的意味がある。以前はノート展があり、他学年のを見る場があった。足近の子の落ち着きや学力の土台はこうしたところにあるのではないか。手で書くことも残してほしい。

【委員】

みんな違ってみんな良い。自己肯定感を高めるのに大切な時期である。地域として何かできればと思っている。協力をしていきたい。

【委員】

先生たちが明るいかからか、子供たちも授業を楽しんでいる。笑顔で授業をしているのは良い。

【市教委】

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、行動が緩和されてきた。子供たちもマスクを外しており、表情に豊かさがある。

学校においては、子供たちの問題がないことはないにとらえ、起きた時にどのように解決するのかを学ばせていくことが大切。

(6)閉会の挨拶【委員長】

小さい地域ゆえに助け合ってきた。学校だけでなくコミセンの活動も大事にしていきたい。